



75周年記念誌

花 有 道

真庭保健所管内愛育委員連合会



上の写真は、昭和56年真庭環境保健所改築を記念して、
真庭郡愛育委員連合会が寄贈したものです。

元高野山管長、故高峰秀海師が89歳の時の筆です。
(表装は宮島章子元真庭郡愛育委員連合会長)

師は、昭和26年木山村（現在の真庭市落合地区）の初代愛育委員会長をつとめられました。

岡山県愛育委員の歌

作詞 脇 太一

作曲 永礼みのる

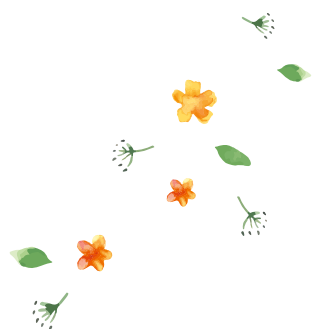
1. 珠にもまさる いとし子の のびゆく命 健やかに
育てる知識 ひろめつつ やさしい愛の 花と咲く
愛育委員は 世の光
2. みごもる母や ちのみ子の 体にいつも 気をつけて
健診接種 すすめつつ 明るい明日の 幸を呼ぶ
愛育委員は 世の守
3. われ等のいとし ふるさとに 誠をささげ 手をつなぎ
希望にもえる 母と子の しあわせ深く 招くもの
愛育委員は 世の力



目 次



I. 発刊にあたり	真庭保健所管内愛育委員連合会会長 杉本喜美恵	4
II. 75周年をお祝いして	岡山県真庭保健所 所長 宮原 勅治	4
III. 祝 辞		
岡山県保健医療部	部長 梅木 和宣	5
岡山県議会	議員 河野 慶治	5
岡山県美作県民局	局長 東 寛	5
真庭市	市長 太田 昇	6
新庄村	村長 小倉 博俊	6
真庭市議会	議長 長尾 修	6
新庄村議会	議長 坂本 英典	6
真庭市医師会	会長 池田 文昭	7
真庭歯科医師会	会長 大國 伸	7
岡山県愛育委員連合会	会長 岡崎 文代	7
真庭保健所管内栄養改善協議会	会長 新家 紀子	7
IV. 愛育委員活動のあゆみ		
1. 愛育委員の任務、性格、心得		10
2. 愛育委員活動の実際		11
3. 活動のあゆみ		12
1) 愛育委員誕生から70周年（令和2年度）まで		12
2) 令和3年度～令和6年度		16
(1) 母子保健活動		16
(2) 結核・感染症予防活動		17
(3) 生活習慣病、がん予防活動		17
(4) 高齢者の健康づくり活動		17
(5) 健康づくり活動		17
(6) 禁煙運動		18
(7) 歯科保健活動		18
(8) 心の健康づくり活動		18
(9) 献血推進活動		18
(10) その他 コロナ禍における愛育委員活動		18
4. わたしの地区のイチオシ活動紹介		19
5. 真庭保健所管内愛育委員連合会の活動		27
V. 真庭保健所管内愛育委員連合会 愛育委員活動を語る会		29
VI. 資料編（令和3年度～令和7年度）		
総会・研修会		34
表彰歴		34
歴代役員		35
会則		36
組織図		38
VII. あとがき		38



I. 発刊にあたり



真庭保健所管内
愛育委員連合会
会 長
杉本 喜美恵

真庭保健所管内愛育委員連合会は、今年で創立75周年を迎えることができました。これまで愛育委員活動にご理解とご支援を賜りました、真庭市医師会、真庭歯科医師会をはじめとする関係機関の皆さまに、深く感謝申し上げます。また、愛育委員活動の基盤を築き、「愛育のこころ」を綿々と受け継いでくださった皆様には、言葉では言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。

真庭地域は、昭和25年に旧河内村と旧湯原町で、岡山県内で初めて愛育委員が誕生した発祥の地です。愛育委員は発足当初から、母と子の健康づくりを中心に活動を行ってきましたが、時代の変化に合わせて、結核予防や生活習慣病予防、がん検診の受診啓発など、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い世代の健康づくりに取り組んでまいりました。

近年頻発する自然災害などの被災地においても、愛育委員活動の基本である声かけや見守り、助け合いが、住民一人ひとりを支え、困難を乗り越える力となることを、改めて実感しております。

約4年にわたるコロナ禍においては、活動の自粛を余儀なくされる中でも、愛育委員は工夫を凝らし、人と人を繋げる活動を続けてきました。75周年という節目を迎え、今後も「元気が素敵！健康真庭!!」の推進に向けて、地域の皆様とともに心新たに努めてまいりたいと思います。

最後になりましたが、記念誌の発刊に際し、貴重なお言葉をお寄せいただきました諸先生方に、心より御礼申し上げますとともに、今後とも一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。皆様のさらなるご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

II. 75周年をお祝いして



岡山県真庭保健所
所 長
宮原 勅治

真庭保健所管内愛育委員連合会が創立75周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げますとともに、昭和25年の創設以来、愛育活動発祥の地として、地域の皆さまの健康を守り育てるために献身的に取り組んでこられましたことに、深く感謝申し上げます。

戦後間もない当時は、栄養不足や不衛生な環境により乳児死亡率が高く、特に真庭地域では、日照時間の少ない冬季に「くる病」を発症する子どもが多く見られるなど、厳しい状況でした。

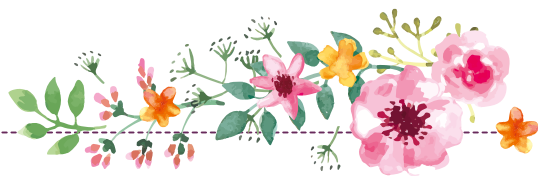
そうした中、愛育委員の皆さまは、育児相談や乳幼児健診への協力をはじめ、行政と連携し、地域の母子の健康づくりに尽力されてきました。岡山県の公衆衛生の歩みは、まさに皆さまのご尽力とともに築かれてきたものといえます。

その後も、社会の変化とともに活動は広がり、母子保健にとどまらず、働き世代や高齢者を含む全世代の健康づくりへと発展してまいりました。時代のニーズに応じ、生活者の視点を大切にしながら、たゆまず取り組んでこられたことに、改めて敬意を表します。

人とのつながりが希薄になりつつある昨今、今後も愛育委員の皆さまには、誰ひとり取り残されることのない、安心して暮らせる地域づくりを目指して、地域の実情に即した工夫をこらし、楽しく活動をしていただきたく存じます。

結びに、真庭保健所管内愛育委員連合会のさらなるご発展と、皆さまのご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げ、祝辞とさせていただきます。

Ⅲ. 祝 辞



岡山県保健医療部
部 長 梅 木 和 宣

真庭保健所管内愛育委員連合会が創立75周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

岡山県の愛育委員は、昭和25年、県下に先駆けて真庭郡河内村と湯原町で誕生しました。少子高齢化が進み、社会環境が大きく変化している現在も、結成当時の思いを引き継がれ、時代に応じて形を変えながら地域の絆をつなぐ活動を継続していただいていることに敬意を表します。

本県では、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生きおかやま」の実現に向け、県民の多様なニーズに対応し、それぞれのライフステージに合わせた切れ目のない支援を目指しております。

今後とも「愛育のこころ」を大切に地域の皆様の健康づくりと、地域社会の発展への支援にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、真庭保健所管内愛育委員連合会の益々の御発展と皆様方の御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



岡山県議会
議 員 河 野 慶 治

真庭保健所管内愛育委員連合会が創立75周年という節目を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

戦後の混乱期に始まり、高度成長期を経て現代に至るまで、子どもたちの健やかな成長と、母と子を見守りながら、地域に根ざした温かな支えとして発展してこられた皆さまの歩みに、深く敬意と感謝を申し上げます。いつも本当にありがとうございます。

時代が移り変わっても、誰かを思い、寄り添う気持ちの大切さは変わりません。

皆さまの思いやりと献身的な活動が、子どもたちの成長や地域の安心につながっていることは、何よりの希望です。

これからも地域に寄り添い、やさしさと心をつなぐ存在として、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



岡山県美作県民局
局 長 東 寛

真庭保健所管内愛育委員連合会創立75周年を心からお祝い申し上げます。

岡山県の愛育委員は真庭郡河内村と湯原町、現在の真庭市で発祥し、75年もの長きに渡り、子どもから高齢者まで、生涯を通じた健康づくりに日々御尽力いただいておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。

真庭地域では人口減少や高齢化、つながりの希薄化が課題となるなか、愛育委員の地域に根差した丁寧な声かけや見守り活動が、住民一人一人が安心して健康的に生活するためにはなくてはならない存在となっております。今後とも、全ての住民が健やかにいきいきと生活できる地域づくりのため、引き続き御協力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、貴連合会のますますの御発展と愛育委員の皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。





真庭市
市長 太田 昇

真庭保健所管内愛育委員連合会が発足75周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

昭和25年に妊産婦や乳幼児の死亡率改善を目指し、この真庭の地でも活動が始まりました。以来、長年にわたり地域の健康を守り続ける努力を積み重ねてこられました。特に、地域の方々への声かけを重視した活動は、人と人を繋ぎ、心身の健康を支える大切な役割を果たしています。このような温かい繋がりが地域の安心と活力を生む源となっています。

今後も「愛育のこころ」を理念に、地域の皆様とともに住みやすい環境づくりを目指していただけることを期待しております。

貴連合会のますますの発展と委員皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



新庄村
村長 小倉 博俊

真庭保健所管内愛育委員連合会が発足75周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、長きに渡る活動をまとめられた記念誌の発刊につきまして誠におめでとうございます。

発足から75年間の活動継続は、歴代の愛育委員の方々一人ひとりの地域への強い愛情と使命感の賜物であり、心から敬意を表します。

愛育委員の皆様におかれましては、日頃から地域の健康づくりにご尽力いただき誠にありがとうございます。また、国民の持つ価値観の多様化により地域住民の繋がりが希薄化し、顔の見える関係が弱体化していることが課題となっている昨今、愛育委員の皆様の存在自体が地域にとって非常に有難く、心強い「世の光、世の守り、世の力」だと感じております。これからも行政と共に歩み、課題解決に向けてお力添えをいただきますよう切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、真庭管内愛育委員連合会の益々のご発展と皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



真庭市議会
議長 長尾 修

真庭保健所管内愛育委員連合会が発足され75周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昭和25年に岡山県で最初の愛育委員がこの真庭の地で発足して以来、長年にわたり皆様の活動が地域の乳幼児から高齢者まで幅広い方々の健康づくりに多大な貢献をしてこられたことに感謝と敬意を表するものであります。

近年、人口減少に歯止めがかからず、少子高齢化が進み、またコロナ禍を経て生活環境が大きく変化し、地域社会での人と人とのつながりがより一層大事になってきています。こうした時代だからこそ、皆様方の一人ひとりへの見守りやきめ細かな声かけなどの地道な活動が大変重要な役割を果たしているものと思います。

今後とも、「愛育のこころ」を大切に、時代のニーズに応じた活動で、地域のすべての人が健康で安心して暮らすことができるように一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、真庭保健所管内愛育委員連合会のますますのご発展と委員皆様方の御健勝と御活躍を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



新庄村議会
議長 坂本 英典

真庭保健所管内愛育委員連合会が創立75周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

愛育委員の皆様は、地域における健康づくりや子育て支援の重要な役割を担うボランティアとして、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い世代に対して、貴重な情報提供や相談支援を行ってこられました。その活動は、少子高齢化が進む現代社会において、ますます重要性を増しております。また、地域共生社会の実現に向け、愛育委員の皆様の活動は地域の絆を深め、安心して暮らせる環境を築くための基盤であると考えます。

時勢が変わる中で、愛育委員の皆様が果たす役割はますます大きくなります。今後も地域の皆様と共に手を携え、健康で幸せな社会を築いていくために、一層のご尽力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、真庭保健所管内愛育委員連合会の益々のご発展と皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。



真庭市医師会
会 長 池田 文昭

真庭保健所管内愛育委員会連合会創立75周年をむかえられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴委員会は、戦後の食糧難による栄養失調、結核等の感染症疾患の多発するなか、妊婦と乳幼児の健全な発育を目指して発足されて以来、脈々とその精神を引き継ぎ、75年もの長きにわたり、母子保健のみならず、検診など健康全般に渡る多方面の活動により多くの功績を残してこられました。

今日、少子・高齢化・人口減少、地域の連帯意識の希薄化が進む中で、5年間のコロナ禍がさらに拍車をかけています。真庭市民が住み慣れた町でいつまでも安心安全に暮らしていけるために、地域包括ケアの考えを実践し、地域での集いや訪問、声かけなど、地域の方々に寄り添う活動が必要とされています。愛育委員会の皆様には、地域でのきめ細かい活動が期待されています。

今後とも真庭保健所管内愛育委員連合会の皆様方の益々のご活躍をお願い申し上げ、お祝いの言葉と致します。



真庭歯科医師会
会 長 大國 伸

真庭保健所管内愛育委員連合会の75周年、誠におめでとうございます。

昭和25年、河内村（現真庭市落合地区）と湯原町（現真庭市湯原地区）で岡山県初の愛育委員が誕生して以来、地域の健康づくりに貢献されてきました。愛育活動は歯科医療とも密接に関わり、口腔の健康維持を通じて健康寿命の延伸に寄与しています。

また、初の緊急事態宣言から5年が経過し、地域の健康意識は大きく変化しました。コロナ禍を経て、予防医療の重要性が再認識され、歯科医療においても定期検診や口腔ケアの推進がより求められるようになっていきます。真庭では、訪問診療の拡充やデジタル技術の活用が進み、地域全体での健康支援の強化が期待されています。

今後も愛育活動と歯科医療が連携し、住民の健康を支える新たな取り組みが広がることを願い、皆様のさらなる発展を祈念いたします。

改めまして、75周年、誠におめでとうございます。



岡山県愛育委員連合会
会 長 岡崎 文代

真庭保健所管内愛育委員連合会創立75周年を心からお祝い申し上げます。

近年、地域社会での連帯意識の希薄化や子育て世代の孤立など、私たちを取り巻く環境は大きく変化している中、愛育委員活動の原点である訪問や声かけ、見守りなど地域の方々に寄り添った活動に対する期待は、益々大きくなっております。

皆様方におかれましても、先輩方から受け継いできた「愛育のこころ」を大切に継承され、さらなる御尽力を賜りたいと存じます。

岡山県愛育委員連合会といたしましても、愛育委員が「世の光、世の守、世の力」となって、地域の人々が安心して健康で豊かな人生を送ることができるよう、今後も皆様と力を合わせて活動を進めてまいりたいと思います。

最後になりましたが、皆様方の益々の御発展と御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



真庭保健所管内栄養改善協議会
会 長 新家 紀子

真庭保健所管内の愛育委員連合会が創立75周年を迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。

この真庭の地域は、県下で初めて愛育委員が誕生した地であり、75年の長きにわたり、「愛育のこころ」を継承されながら、地域に根ざした活動に取り組まれてきた愛育委員の皆様のご活躍に対し、深い敬意と感謝を申し上げます。

社会は多様化、複雑化しておりますが、地域での声かけや訪問、見守り活動は、人と人をつなぐ大切な活動であると思います。今後も「元気が素敵! 健康真庭!!」を目指し、私たち栄養委員も、愛育委員の皆様と共に、歩んでいきたいと願っています。

最後になりましたが、貴会の益々のご発展と愛育委員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

活動のあゆみ



1. 愛育委員の任務、性格、心得

2. 愛育委員活動の実際

3. 活動のあゆみ

4. わたしの地区のイチオシ活動紹介

5. 真庭保健所管内愛育委員連合会の活動

Ⅳ. 愛育委員活動のあゆみ

1. 愛育委員の任務、性格、心得

愛育委員は、“子どもが健やかに育つ真庭の地域づくり”という大きな目標を掲げ、一市一村の愛育委員相互の緊密なる連携の下に、地域の各組織、各団体との連絡を密に取り合い、母子保健・高齢者保健・成人保健等健康全般にわたる保健事業への理解を深め、文字通り『愛育』の心を持って、地域に根付いた活動を行う。

愛育委員の任務、性格、心得

1. 愛育委員の任務

愛育委員は、地区の中核として母子保健を基に生涯にわたる健康づくりの夢と希望にあふれる社会をつくることを任務とします。

2. 愛育委員の性格

愛育委員は、「母子保健を中心とした公衆衛生の向上を図る」ため自主的に作られた組織です。

「身近な健康問題を解決するために自分たちで計画実践する」とことと「市町村長から任命または委嘱を受けた協力機関でもあるので、市町村等の行政にも協力する」ことを土台として自主的な地についた活動を行いましょう。これら双方相まった活動を行うことが委員の任務を真に果たすことにつながるといえます。

3. 愛育委員の心得

- (1) 日頃の活動を通じて気軽に話せる人間関係を作りましょう。
 - ①話しやすい雰囲気をつくる。
 - ②相手の話をよく聴く。
 - ③相手が、話したがる点はない点、執拗に聞き出さないこと。
- (2) 対象は担当地区内全ての人です。
- (3) 担当地区内に生じた健康問題は、市町村や保健所の保健師と連絡をとりましょう。
- (4) 難しい問題は自分で抱え込まないで、それぞれの専門機関と相談を密に取りましょう。
- (5) 地区の委員会、研修会には積極的に参加し愛育委員として主体的な活動と責任が果たせるよう学習しましょう。
- (6) 知り得た秘密は、かたく守りましょう。相談内容は、絶対に外部に漏らさないようにしましょう。

(愛育委員活動テキストから抜粋)



2. 愛育委員活動の実際

① 愛育委員活動とは

- 住民が取り組んでいく「健康づくり」のための組織活動
地域において、地域住民が健康に関する問題を解決するために、共通の目的を持ち、目標達成を目指した組織をつくり、さらに住民自身が地域の健康問題を自らの課題として解決していく住民参加による主体的な活動です。
- 人と人のふれあいを基盤にした活動
- 健康づくりを通して住み良い地域づくり、まちづくりをめざした活動



② 愛育委員活動の特徴

- 地域に住む立場で活動
その地域をよく知っているのは愛育委員さんです。
- 健康づくり、健康の確認から幅広い活動
健康の保持増進、悪化させない予防の視点、先を見通した活動の展開が必要です。
- 地域を包括した活動
地域全体をひとつとした活動が必要です。
- 身近な日常生活の中で実践する活動
地域の中で起こっている問題は、地域の中で解決策を見出し実践する活動です。
- 家庭訪問と話し合いの連続性を積み重ねる活動
声かけ訪問や家庭訪問により、地域の実態を把握し、その把握した情報を地区の役員会、管内の役員会等で話し合う中で、地域特性を活かした活動につなげます。
- 保健師等の連携・協働による活動
保健師や関係機関、地域の組織等と連携・協働により地域の健康問題を解決していきます。

3. 活動のあゆみ

1) 愛育委員誕生から70周年（令和2年度）まで

真庭保健所管内愛育委員連合会の沿革

昭和9年3月	●恩賜財団愛育会の創立 (昭和21年1月に恩賜財団母子愛育会に改称)	
昭和11年	●愛育村事業の開始 母子衛生の向上を目的に、全国に愛育村を指定。岡山県では真庭郡河内村（現在の真庭市）、邑久郡邑久村（現在の瀬戸内市）、御津郡野谷村（現在の岡山市北区津高）、赤磐郡鳥取上村（現在の赤磐市）の4か所が指定を受ける。	
昭和25年10月	●愛育委員の誕生 県内で最初に久世保健所（現在の真庭保健所）管内の旧河内村（旧落合町）、旧湯原町に愛育委員会が誕生。	
昭和26年	●真庭郡全町村に愛育委員会が結成 <昭和20年代の主な活動> ●岡山県愛育委員設置要領に基づき、保健所・管内市村長・衛生主務者の合同会議を開催する。 ●国立岡山病院名誉院長故山内先生並びに旭川荘名誉理事長故江草先生の奉仕により、乳幼児健診に合わせて「くる病検診」が実施される。 ●寄生虫検査、乳幼児健診、妊婦健診に協力する。 ●乳幼児健診に合わせ「赤ちゃんコンクール」を昭和34年まで開催する。 ●担当地区内の乳幼児と妊婦の家庭訪問を始める。 (必要に応じて保健師に訪問依頼) ●母親学級・家族計画の指導・保健相談・妊婦相談などに協力する。	 国立岡山病院名誉院長 故 山内逸朗先生の乳幼児健診  母親学級
昭和30年8月	●岡山県愛育委員連合会の結成 <昭和30年代の主な活動> ●母親クラブ結成に尽力する。 ●結核検診に協力し、住民健診の受診率を高め、結核撲滅に協力する。 ●成人病予防対策に協力する。(成人病循環器検診・子宮頸がん検診・胃がん検診・健康相談・成人病教室等) ●3歳児健診が始まる。乳児のむし歯予防活動の重要性を再認識し、活動を開始する。 ●ポリオワクチンの服用に協力、その他予防接種普及啓発活動に協力する。	

●旭川荘と愛育委員

社会福祉法人旭川荘名誉理事長の故 江草安彦先生は昭和27年から、私たち真庭の愛育委員とともに歩み、活動を生涯支え続けてくださいました。

真庭郡愛育委員連合会名誉会長の故 河本花さんは、愛育委員として活動する中で、地域にいる重い障がいのある子どもと、その家族の悲惨な実態を知り、子どもとその家族のために「何かしないといけない」という思いから、障がい児のための施設をつくろうという運動を起こされました。この運動は、やがて岡山県愛育委員連合会の「愛の1日1円募金活動」へと広がり、江草先生などのご尽力のもと昭和40年、旭川荘に「愛育寮（重症心身障碍児施設）」ができました。

その後、江草先生の働きかけで、平成26年には、真庭の地に「旭川荘真庭地域センター」ができ、今も真庭における障がい児者のための拠点となっています。



旭川荘名誉理事長
故 江草安彦先生

<昭和40年代の主な活動>

- 真庭郡愛育委員連合会が厚生大臣表彰を受賞する。
- 母乳運動を強力に推進する。

<昭和50年代の主な活動>

- 岡山県が母子保健三冠王(乳幼児死亡率・新生児死亡率・周産期死亡率)を達成する。
- 1歳6ヶ月児健診が開始され、協力する。
- 健康増進のための各教室に協力する。
- 老人保健事業の健康教育、健康診査等に協力すると共に、高齢者への訪問活動を積極的に始める。
- 県からの委託で高齢者ヘルスボランティア養成講座を開催する。

<昭和60年～平成11年度の主な活動>

- 禁煙対策に取り組む
- 10代の人工妊娠中絶半減運動に参加する。
- 「真庭版育児の知恵袋」「のびのび育て真庭っ子」を作成する。
- 思春期の健全育成を考える研修会を開催する。
- 高校生と乳児のふれあい体験学習事業を開始する。
- 地域子育て支援事業を開始する。
- 県からの委託で「くらしの中のヘルスアドバイス事業」を“アレルギー”をテーマに3年間（平成9～11年）栄養改善協議会と合同で取り組む。



10代の人工妊娠中絶半減運動



思春期のふれあい体験学習



寝たきり老人ゼロ作戦

平成12年度	<平成12年～平成16年度の主な活動> ●子どもと保護者の食生活習慣についてアンケート調査を実施する。	
平成13年度	●アンケート調査で課題となった“禁煙”をテーマに、保育園、幼稚園、小学校に出向き、禁煙紙芝居による禁煙啓発活動を実施する。	
平成14年度	●「素敵な子ども体験事業」での普及啓発、個別訪問を実施する。	
平成15年度	●親子交流事業に取り組む。「地域のお母さんがすすめる健康支援事業」を県から受託し開始する。	

素敵な子ども体験事業

●地域ですすすめる健康支援事業の歴史

平成15年から真庭地域で乳幼児と触れ合う体験を増やすため、愛育委員と栄養委員の協働により「素敵な子ども体験事業」が始まる。その後、県全体に広がり、平成16～20年度には県の事業として「地域のお母さんがすすめる健康支援事業」を実施し、真庭地域ではその活動の重要性から、県事業終了後も継続して取り組んでいる。

平成30年からは、男性の愛育委員・栄養委員が増えてきたことや、家族形態も多様化していることから、名称を「真庭版地域ですすすめる健康支援事業」に変更し、地域ぐるみの子育て支援活動を継続している。

平成16年度	●子どもと保護者の食生活習慣についてアンケート調査を実施する。
平成17年度	<平成17年～平成21年度の主な活動> ●町村合併により管内が真庭市（真庭郡8町村と上房郡北房町が合併）、新庄村となり「真庭郡愛育委員連合会」から「真庭保健所管内愛育委員連合会」に改称する。
平成18年度	●「女性のがん検診啓発普及事業」を県から受託し、乳がん検診・子宮がん検診の重要性についての普及と検診の受診勧奨を強化する。 ●思春期の心とからだの健康支援事業を県から受託し、思春期の健康づくりを推進する。リーフレット「まにわの地域のおかあさんからのメッセージ：未来に向かうあなたたちへ」を作成し配布する。
平成19年度	●リーフレット「まにわの地域のおかあさんからのメッセージ：子育て中のお母さんたちへ」を作成し配布する。
平成20年度	●リーフレット「身近な小児救急疾患」、「まにわの乳幼児の歯を守ろう！」を作成し配布する。
平成21年度	●愛育委員、保護者、祖父母世代と一緒に勉強する歯科保健研修会を開催する。



歯科保健研修会



60周年記念事業



社会福祉法人旭川荘での
朴の木の記念植樹

平成23年度	<平成22年～平成27年度の主な活動> ● 真庭地域医療再生計画推進協議会の委員として参画し、協議会が行う「脳卒中に関する普及啓発後の意識調査」に協力するとともに脳卒中予防の啓発チラシの配布や糖尿病予防の啓発活動を実施する。
平成24年度	● 行政と協力し、保幼小中の保護者等若い世代にも参加を呼びかけ、「女性のためのがん予防講演会」を開催する。
平成26年度	● 愛育委員と学校関係者が思春期の健康について共に考え、思春期の子どもの心とからだの健康づくりを応援するため、「思春期の健康づくり研修会」を開催した（平成26年～28年度）。また、管内各高等学校に働きかけ、「思春期出前講座」を開催する。
平成26年度～平成27年度	● 「真庭の乳幼児の歯を守ろう」の普及啓発の一環として、啓発用に作成したチラシと歯ブラシを活用し、こども園でむし歯予防の啓発活動を実施する。  女性のがん啓発活動  薬物乱用防止街頭キャンペーン  むし歯予防の啓発活動
平成29年度～平成30年度	<平成28年～令和2年度の主な活動> ● 岡山大学歯学部や真庭歯科医師会、愛育委員を含めた地域の健康づくりボランティア等の関係機関と連携し、「真庭の子どもたちの歯を守ろうプロジェクト」を実施する。
平成30年度	● 女性のがん検診受診推進事業に取り組み、がん検診受診啓発資材を作成し、各地域でがん検診受診をすすめるPR活動を実施する。 ● 「地域におけるたばこ対策事業」において、管内の学校に出向き、パンフレットの配布など未成年者への普及啓発を実施する。
令和2年度	● 新型コロナウイルス感染症が令和元年度から世界的に流行し、令和3年度には岡山県でも緊急事態宣言が発令される。感染拡大予防のため多くの行事が中止となるなど活動に制限がある中、感染予防の啓発活動などに取り組む。  幼児へのむし歯予防啓発活動  世界禁煙デー街頭キャンペーン  管内リーダー研修会 「新型コロナウイルスと 愛育委員活動」

2) 令和3年度～令和6年度

1. 母子保健活動

① 真庭版地域ですすめる健康支援事業

親子が地域で見守られているという安心感を持ちながら、子どもの健やかな成長と子育ての楽しさや喜びを感じられる地域づくりを行うため、地域で活動する愛育委員と栄養委員が協働し、地域ぐるみの子育て支援活動を展開している。管内愛育委員連合会と管内栄養改善協議会が合同で話し合うことで相互理解を深め、より効果的な活動につなげるために検討会や報告会を実施している。

- 愛育・栄養と一緒に活動できるのがよい。
- 単独ではできることに限りがあり、それぞれの強みを活かして活動できた。
- 子どもと地域住民とが対話やコミュニケーションを通じてつながる機会となった。
- 子育て中のお母さん・お父さんの心が軽くなるような活動を考えていけたらと思う。
- 参加人数が少なくなっても続けていきたい大切な活動だと思う。



(真庭版地域ですすめる健康支援事業報告会 左：令和5年度 右：令和6年度)

② 地域ではぐくむ思春期の心とからだの健康支援事業

思春期は心も体も大人へと成長する時期であり、男女ともに人づくり、健康づくりの基盤となる重要な時期であることから、愛育委員は行政、教育機関と連携し、健全な子育て環境づくりを推進するための活動を各地域で行っている。

思春期出前講座



(令和5年度 思春期出前講座 勝山高校)

将来につながる自らの心と身体の健康づくりへの関心を高めるために出前講座を開催している。「愛育委員からみなさんへのメッセージ」として、愛育委員の活動紹介や健康づくりに関するリーフレット等を配布し、愛育委員を知ってもらおう機会にもなっている。



思春期ふれあい体験学習

中・高校生が乳幼児とのふれあい体験を通して、出産や育児の重みや喜びについて理解できるよう、学校や市村等と連携して活動しています。現在では全地区に活動が広がり、地域の子どもと愛育委員が交流できる場にもなっている。



(令和6年度 ふれあい体験学習 北房支部)

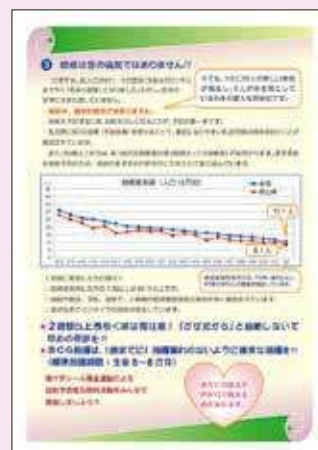
2. 結核・感染症予防活動

各地域のイベントなどで結核検診の勧奨や複十字シール運動を通じて、結核予防の普及啓発活動を行っている。



(令和6年度 複十字シール募金運動 落合支部)

管内愛育委員
連合会で作成し、
各地域での活動
で活用している。



3. 生活習慣病・がん予防活動

がん検診を含む各種健（検）診の運営協力や、生活習慣病予防のための知識の普及啓発に力を入れている。管内では特に大腸がん・乳がん・子宮頸がんの精密検査受診率が低迷しており、研修会等での学習やがん予防の啓発活動を実施している。



(令和5年度 健康まつり 新庄村)



(令和6年度 管内総会・研修会)

4. 高齢者の健康づくり活動

元気にしとったん？



(令和6年度 高齢者サロン 美甘支部)

高齢になってもいきいきと生活が続けられるよう、老人クラブや社会福祉協議会等の他団体と連携し活動している。
介護・認知症予防のため、サロンでの活動や独居高齢者の見守り、訪問等を行っている。サロンは地域での居場所にもなり、憩いの場となっている。

5. 健康づくり活動

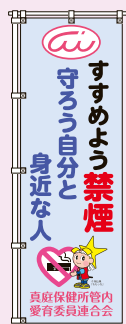
岡山県では、子どもから高齢者まで、すべての県民が、健やかに心豊かな生活を送るため「第3次健康おかやま21」を策定し、生活習慣病の予防や改善、健康づくりをしやすい環境づくり等の推進を行っている。

当連合会では「みんなの力で『元気が素敵！健康真庭!!』をきずこう」をスローガンに掲げ、地域での健康づくりを支える組織の一つとして役割を担っている。



(令和6年度 はつらつウォーキング 久世支部)

6. 禁煙運動



(令和5年度 街頭啓発活動)

管内の肺がん死亡率は岡山県と比べても高い値であり、肺がん予防や早期発見が重要なことから、「世界禁煙デー」や「禁煙週間」に合わせ、特に成人前の高校生を中心にたばこの害を正しく理解してもらうため、学校や駅、商業施設等と連携し街頭啓発活動を実施している。

たばこは肺がんの原因になるよ～！

7. 歯科保健活動

岡山県では令和6年度から第3次岡山県歯科保健推進計画として「8020健康長寿社会」の実現を推進している。管内の子どものむし歯保有率は県平均と比べても高い傾向にあることから、地域の子育てサロンやこども園などでの紙芝居や寸劇、むし歯ゼロの子表彰等を通して子どもからのむし歯予防活動を行っている。



(令和6年度 むし歯予防教室 勝山支部)

8. 心の健康づくり活動



(令和5年度 リーダー研修会)

管内の自殺死亡率は、全国平均と比べて高い傾向にあることから、心の健康づくりに関する研修会や、日頃からの見守りや声かけ、普及啓発活動を行っている。

何気ないあいさつや声かけから「いつもと違う？」に気付きたい。



(令和6年度 講演会 蒜山支部)

9. 献血推進活動

ひとりでも多くの方から献血に協力していただくため、各地区の家庭訪問等で協力の呼びかけやチラシ配布による啓発活動を行っている。また、献血会場の受付等の運営協力にも取り組んでおり、住民が安心して献血を行えるよう、身近な健康づくりボランティアとして献血推進活動に取り組んでいる。



(令和6年度 献血推進活動 湯原支部)

10. その他 コロナ禍における愛育委員活動

コロナ禍において、医療現場の最前線で尽力いただいた真庭地域の医療従事者の方々に、心からの感謝の気持ちを伝えるとともに、少しでも心の支えとなるよう、管内医療機関に愛育委員が作成したメッセージボードを贈呈した。



(令和3年度 メッセージボードの贈呈)

4. わたしの地区のイチオシ活動紹介



真庭市 北房支部

中学生の乳幼児ふれあい体験

中学生が乳幼児とふれあうことにより、命の尊さを学び、命を大切にする考えや親への感謝を深めてもらいたいと願い、愛育委員と栄養改善協議会（現 食育推進ボランティア）の活動として、平成27（2015）年度から中学生と乳幼児のふれあい体験を実施しています。

妊婦体験ジャケットを身につけて、妊婦さんの大変さを体験した後、乳児人形で抱っここの仕方や着替えなどを体験してもらいました。また、食育推進ボランティアに離乳食の作り方を教わり、試食体験をしました。

その後、「ほくぼうほたるっこ」にお邪魔して、実際に妊婦さんから、妊娠中に気をつけることや大変さを聴いたり、乳幼児を抱っこしたり、一緒に遊んだりしてふれあいました。「赤ちゃんは、小さくて、柔らかくて、守ってあげないといけない」「私もこんな風に守って育ててもらった」「命は本当に大切なもの」と体験をとおして感じてもらうことができました。



認知症サポーター養成研修



令和2（2020）年度から、「認知症サポーター養成講座研修」を一つの取り組みとして実施しています。愛育委員の役割の「見守り」活動で、認知症の基礎知識や関わり方などの知識を深めることが目的です。

認知症家族を介護した経験者もいれば、認知症の人が身近にいない委員もありますが、認知症の方に寄りそう、認知症になっても地域で暮らしていくことを考える、とてもよい研修となっています。



真庭市 落合支部

思春期の健康づくり（中学生と乳幼児のふれあい体験学習）

令和4（2022）年度から落合中学校3年生を対象に思春期の健康づくりとして『中学生と乳幼児のふれあい体験学習』をしています。食育推進ボランティアと協働し栄養面の健康づくりのお話から始まり、妊婦体験や赤ちゃん人形でのお世話体験、乳幼児を抱っこしたり産婦さんのお話をきかせてもらいます。

赤ちゃんを抱っこする中学生の可愛さに、毎年癒されています。中学生が命の大切さを感じ、自分自身を大切に感じてもらえる良い事業です。



各地区の愛育委員活動



落合地域は7地区に細かく分かれていて、地区毎の活動をしています。親子クラブのお手伝いや、こども園・小学校の行事やイベントでのお手伝いと交流をしています。

写真の行事は、食育推進ボランティアと小学校の行事に参加している様子です。食育推進ボランティアは食育のお話を、愛育委員は子どもが自信を持って活動できるよう、優しく声かけや励ましをしながら関わり活動をしました。

がん検診の受診勧奨（声かけ活動）

愛育委員として、担当地域内のがん検診受診者増加を目指して、声かけ活動をしています。声かけのツールとして、『けんしんガイドブック』から落合地域内での集団検診を抜粋して、分かりやすいチラシを手作りしています。

こども園や小学校へ出向き、コドモンによるデータ送信での受診勧奨も始めました。1人でも多くの方が検診を受けられ、健康的な人生を送っていただけるよう、愛育委員はあらゆる方法で声かけをしていきます。





真庭市 久世支部

中学生と乳幼児のふれあい体験学習

この事業は、久世中学校3年生を対象に一人ひとりの命の大切さや子どもを育てる親の思いや責任に気づくことをねらいに平成28（2016）年度より実施しています。

妊婦体験や育児体験の後、久世地域の子育て中の方からのメッセージを動画で視聴し、より命の大切さについて心に響く学習になっています。

<生徒の感想>

- この体験を初めてして、今久世で子育てをされている方々の声が聞けてすごくいい経験になった。
- 今はまだ中学生だけど、これから子育てをしていく上で、周りの人たちの支えやアドバイスがあってこそ出産したり、育児ができることがわかった。
- 妊娠してから大変なことが多そうだけど、動画に映っていた人はみんなすごく嬉しそうで、それだけ幸せなことも多いんだと思った。
- もし困ったらネットではなく、自分が信頼できる人に相談したい。
- 自分が健康で大きく成長できているのは、親が世話をしてくれたからだと分かった。



遊ぼう！楽しもう！



「地域ぐるみでの子育て支援」を目的に、令和4（2022）年度より、毎年、子どもたちとその家族を対象にした遊びのイベントを開催しています。

食育推進ボランティア久世チーム・くせ活き生きサロン・社会福祉協議会久世支所・久世シニアクラブ・山下木材・矢野木材・子育て支援に携わる地域の方々が協力してくださり、様々な体験や遊びのコーナーが久世体育館いっぱいに広がりました。令和6（2024）年度は、236名の方がお越しください、様々な年代の方の交流もあり、時間を忘れるほど、とても楽しいひとときを過ごしました。

木育体験（木材チップの砂場、アクセサリー作り、丸太切り）・読み聞かせ・工作・食育体験・缶バッチ・ボードゲーム・昔遊び・小さなボランティアなど、たくさんのコーナーがありました。

あいいくサロン おでかけサロン

毎月第2月曜日に、くせ活き生きサロンで「あいいくサロン」を開催しています。子育て中の方が参加され、つながりをつくる機会となっています。また、年2回、久世中学校にて、「おでかけサロン」を開催しています。休み時間ごとに覗いてくれる生徒が増え、中学生・乳幼児・子育て中の大人・愛育委員がほど良い距離感で、一緒に遊んだり話したりしています。参加したみんなにとって、とても心地よい空間と時間になっています。





真庭市 勝山支部

子育て支援 ベビーマッサージ教室

年4回、妊婦さんと、生後3ヶ月からハイハイをするまでのお子さんと保護者を対象に、ベビーマッサージ教室を開催しています。

スキンシップを通して、親子のきずなを深めてもらっています。お母さん方が安心して参加できるように、愛育委員がサポートしています。



高齢部会が行っている高齢者施設訪問



勝山支部では全体での活動の他に、それぞれの班の班長・副班長が母子部会・高齢部会・広報部会に分かれて所属し、活動しています。

高齢部会では長年、高齢者施設を訪問し、窓拭きをしたり車椅子の掃除をしたりするボランティアをしてきましたが、コロナ禍になり施設内に入れなくなってからは、形を変えて訪問を続けてきました。

利用者さん方の顔の見える訪問が再開できることを願っています。

中学生とのふれあい体験学習

母子部会では、平成7（1995）年度から令和5（2023）年度まで勝山高校の学生を対象にふれあい体験学習を行ってきましたが、令和6（2024）年度から勝山中学校2年生を対象にふれあい体験学習を行いました。

「食の大切さ」や「妊娠性」の講話を聴いてもらったり、「妊婦体験」「育児体験」を行ったりしましたが、いずれも命の尊さや自分もこうやって大切に育ててもらったのだということを改めて感じる機会になったようです。



視察研修



愛育委員同士の親睦を深め、見聞を広げようということで視察研修を行っています。

令和6年度は岡山市祇園にある旭川荘に行ってきました。資料館でお聞きした、真庭の愛育委員会会長 河本花さんの「愛の1日1円募金運動」のお話には、感慨深いものがありました。後楽園にも立ち寄りました。



真庭市 美甘支部

歳末高齢者宅見守り活動

年末年始を安全に過ごしてもらうために、毎年12月に高齢者宅を訪ねる見守り活動を、平成22（2010）年度から行っています。令和6（2024）年度の対象の方は、75歳以上のひとり暮らしと共に80歳以上の2人暮らしの方で108人でした。

訪問には、愛育委員に真庭警察署員2人も同行。美甘産のひめのもちの丸餅や詐欺防止のチラシなどを手渡ししながら、「元気だった？」、「怪しい電話に気をつけてな」、「寒さに気をつけて」などの声かけをしながら対象の高齢者宅の全戸訪問を行いました。



三世代交流事業



地域全体での子育て支援のひとつとして、美甘こども園年長児・美甘小学校低学年とその祖父母と愛育委員が昔の遊びを一緒に体験する交流事業です。

遊び方を教えてもらったり、ときには、教えてあげたりすることができました。また、子どもならではの自由な発想と工夫で遊んでいる姿も見られ、学習場面ではみられない新たな面もみることができています。少ない園児・児童だからこそ、世代間の垣根をこえて交流を持つことができています。

すくすく教室

毎年、「歯と口の健康週間」にあわせて、美甘こども園で子ども達に歯みがきの大切さやおやつについて、子どもたちの実態にあわせた媒体を工夫しながら伝えています。紙芝居では、子どもたちはとても集中しながら観ることができていました。子どもたちからも「歯みがきはちゃんとせんといけんので」などの声も聞くことができています。

むし歯予防について子どもたちに直接アプローチできるととても良い機会です。これからも子どもにあわせた形を考えながら、継続していきたいと思っています。





真庭市 湯原支部

中学生と乳幼児のふれあい体験学習

命の尊さや性の尊さ、育児の楽しさを学ぶことを目的に、平成12(2000)年度から実施を続けています。

少子化が進み、中学生にとっては乳幼児とふれあう貴重な体験となっています。体験学習をとおして、「親の大変さや愛情が伝わってきた」、「赤ちゃんはあったかくてかわかった」など感想が聞かれ、育ててくれた親からの愛情を感じたり、命の大切さについて考える機会となっています。



愛育・食ボラサロン



地域で集まって体操をしたり、顔を合わせて話をする機会を作ろうと、愛育委員と食育推進ボランティア合同で計画し、サロンを開催しています。健康運動指導士等を講師にヨガや体操などを実施しています。

「体操をして体がすっきりした」、「みんなと一緒に運動ができて楽しかった」などの感想があり、参加者の方は楽しみながら体操に取り組んだり、地域の方との交流を行っています。

愛育・食ボラ・親子クラブ 三部合同研修会

幼児期から体をしっかりと動かすことを目的に、愛育委員会と食育推進ボランティアが企画し、親子クラブに参加を呼びかけて親子体操教室を行っています。講師にスポーツ推進委員をお願いし、鉄棒やマットを使った運動などを体験し、親子でのふれあいや運動を楽しみました。

体操教室の後は、同日開催の図書館イベントへ参加し、ガラスにお絵かきをしたり、マシュマロを焼いたり、親子で楽しい時間を過ごしています。





真庭市 蒜山支部

思春期のいのちの体験学習

令和5（2023）年度から、蒜山中学校3年生を対象に、命の尊さを知り、自分や家族を大切にする心を育むことを目的に行っています。

助産師さんの講演、妊婦体験、赤ちゃん人形を使つての赤ちゃんのお世話体験を通して、中学生から「自分がここまで大きく成長できたのは、親や家族のおかげだと実感した」「1人1人の命の大切さを知った」などの感想があり、学びにつながっています。将来に役立つよう、愛育委員として力を入れていきたい活動です。



あじさい広場 愛育委員と遊ぼう訪問



中和保健センターあじさい広場において、参加する親子に対し、子育て支援活動を行っています。つどいの広場スタッフに加え愛育委員も参加し、作品作りのお手伝いやお子さんと遊んだりしています。

小さいうちから、家族以外の大人とふれあうのは、貴重な機会だと思いますので、今後も愛育委員の大切な役割として続けていきたいです。

地区活動

支部研修会で学んだ知識を、自治会の行事やサロンなどで、地域の皆さんに伝達する地区活動に取り組んでいます。がん予防、認知症予防、熱中症対策についてチラシやDVDを使って伝達しています。

子どもから高齢者まで集まる交流の機会となる地区も多く、「みんなの顔を見て元気になった。」と笑顔と介護予防につながる活動の一つになっています。





新庄村

健康まつり（年に一度の集団総合健診）

新庄村では毎年6月に特定健診とがん検診を同時に受けられる総合健診「健康まつり」を実施しています。愛育委員は地区を全戸訪問しての受診希望者の調査と検診票の配布、その際の受診勧奨といった事前準備から関わり、当日は受付や健診介助のお手伝いを行っています。

顔の見える関係の愛育委員から声かけを行うことにより「健診に行ってみようかな」という気持ちになる人もおられ、新庄村の健康づくりに無くてはならない活動となっています。



中学3年生妊婦体験事業



新庄村では毎年中学3年生を対象に、お腹に重りの入った妊婦体験セットを装着した妊婦体験や、赤ちゃんの模型を用いて沐浴や着替えを体験する「妊婦体験事業」を行っています。

愛育委員はより実践的な立場から中学生を指導・サポートする役割として関わりますが、子どもたちと「地域のお母さんの存在」である愛育委員が触れ合い、顔見知りになることで、子ども達がより安心して暮らせる地域づくりの一環となっています。

地域ですすめる健康支援事業（子ども健康フェス R5）

真庭管内の愛育委員で行っている「地域ですすめる健康支援事業」ですが、新庄村では毎年その現任期の役員を中心に話し合いを行い内容を決めています。

令和5年度は前々から課題だった「子どもさんだけでなく保護者も参加して欲しい」ということを解決すべく、地域の老人クラブや飲食店など幅広い団体・個人に協力を呼びかけ、親世代も楽しめるイベント「子ども健康フェス」を開催しました。

愛育委員はスタッフとしてイベントを支え、多くの来場者を迎えました。



5. 真庭保健所管内愛育委員連合会の活動

総会並びに研修会

愛育委員が地域の現状や課題等を理解でき、声かけ等による地域活動に活かすことで、健康づくりの一助となることを目的に総会とあわせて研修会を開催している。

理事会等で地域の現状や活動に必要な内容について共有し、生活習慣病予防や特定健診、がん検診、心の健康づくりなどをテーマに研修会を行った。

<研修会アンケートから>

- 愛育委員での活動で一人でも多くの方に声掛けをしたい。
- 検診の精密検査に行かない人が多いことに驚いた。
- 健康寿命が少しでも延長できるよう活動していきたい。
- 一日一日の積み重ねが重要と考えさせられました。
- 早期発見・早期治療が大切だと感じた。



リーダー研修会



各地域のリーダーが、愛育委員活動について学び各地域の課題にあわせた活動に活かすことや、研修会を通して愛育委員活動の意義やリーダーの役割を確認することを目的にリーダー研修会を開催している。

研修会では講演の他、グループワークによる活動の振り返りや共有を行っている。

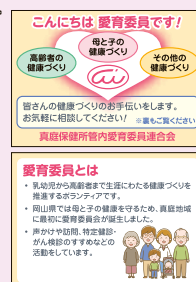
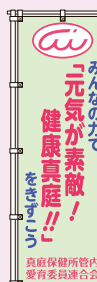
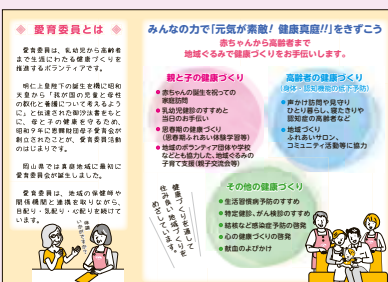


<グループワークから>

- 地域の困りを行政へ橋渡しできるような活動が大切と感じた。
- みんなとつながっていくことが愛育委員活動だと感じた。
- 「目くばり」「気くばり」「心くばり」は活動の宝。
- 地域を知っている愛育委員の力が災害時にも重要。
- 愛育委員のなり手が少なく、必要だと思ったので手を挙げた。

普及啓発活動

管内愛育委員連合会では、新人愛育委員や地域住民に愛育委員の存在や活動を知ってもらうため、リーフレットやポケットティッシュ、のぼり旗等の啓発資材を作成し、各地域での訪問やイベント開催時に配布をしている。



真庭保健所管内愛育委員連合会 理事会での話し合い

理事会では、理事と事務局で地域の現状や課題に合わせた研修会等の行事の企画や、その後の愛育委員活動へ繋げていくための振り返り等を実施している。

令和6年度は、7年度に迎える75周年記念の準備年として「愛育委員活動の過去から現在を振り返り、愛育委員の心を次代へ伝承する」ことをテーマに、記念誌や記念大会の企画を行った。真庭保健所管内愛育委員連合会理事会では、改めて自分たちの愛育委員活動について振り返り、伝承していきたい思いや、楽しかった、やりがいを感じる活動等を確認した。

<頑張りたい活動>

- 活動の中で若い女性は何人も乳がんになるのを見ており、その中には亡くなる方もおられた。とてもショックを受け検診などの啓発活動の必要性を感じている。
- 以前は愛育委員というものを聞いたことがなかったが、真庭に転入した時、愛育委員からのがん検診の受診勧奨で子宮がんが見つかった。医師からも「いい時に検診を受けた」と言われ、あの愛育委員のおかげで今がある。この経験から愛育委員としては声掛けが一番大切だと感じている。
- 理事として地域でなにができるのかを他の地区の活動を見ながら考えていきたいと思う。今は皆さんの話を聞いて、意欲がすごく湧いてきている。皆さんと頑張っていきたい。
- これまでは愛育委員としての具体的な活動について知らなかったが、皆さんの話を聞く中で活動について知ることができた。皆さんと一緒に頑張っていきたい。
- 理事さんからの話を聞いて嬉しい気持ちになった。真庭保健所管内愛育委員連合会は県内でも一番の活動ではないかと感じており、この活動を後世に伝えていくことを使命と思っている。一緒にの船に乗って航海してもらいたい。

<研修会等の振り返りから>

- 愛育委員が一軒ずつ訪問に回ることの大切さについて共有した。誰がどこに住んでいるか把握できることや気になる方のつなぎ役となることが大切と意見がでた。
- 地域での活動が基本。グループワークでは地域で愛育委員を知ってもらうためにはどうしたらいいかという話もあった。役員の在り方について支部でも考えていきたい。
- 地域のつながりが改めて大切だと感じた。愛育委員が初めてという方もいた。訪問に行く際は何か持っていくものがあれば行きやすいと感じた。



愛育委員活動を語る会

とき／令和7年3月13日（木）

ところ／真庭保健所

出席者※

真庭保健所管内 愛育委員連合会	会 長	杉本喜美恵
	元 副 会 長	柴田 愛子
	副 会 長	藤平 民世
	副 会 長	香山 康永
真庭市健康推進課	課 長	山本 和美
新庄村住民福祉課	主 幹	竹本 美香
	主 任	谷川 祐子
真庭保健所	所 長	光井 聡
	真庭保健課長	掛屋 美香
	総 括 副 参 事	片山美保子
	技 師	實光 健吾
	主 事	安藤あさひ

※ 令和6年度

V. 真庭保健所管内愛育委員連合会 愛育委員活動を語る会

今後残していきたい活動 これまでの活動を振り返って



杉本会長

愛育委員は昭和25年に旧河内村と旧湯原町に母子保健を中心に活動するようにと結成されました。江草先生と山内先生が県北にくる病になって虚弱な子どもが多いということで訪問に行かれたんです。その子どもさんが納戸に寝ておられ、お母さんが「先生、うちの子どもを岡山の病院へ連れて帰ってください」と言われたんですけど、「そのような施設が無いので連れて帰ることができないんです」という話でした。その後、河本花さんがその話を聞いて、1円募金をされ、それが旭川荘の愛育寮の始まりです。それから今の愛育委員は江草先生に育てられてきたんです。そういう方がいらっしゃらなかったら、今の愛育委員はないと思うんです。

勝山支部の活動になりますが、旭川荘へのおしめたたみ運動は昭和42年頃から始めています。その頃おしめを一日に8千枚から1万枚使っていて、「これだけのおしめがいるんだったら、布を買っておしめを送りましょう」ということで、愛育委員が布を買って、3年に1度3000枚から5000枚持って行っていました。だんだんと布おしめ自体が紙おしめになってきて、次第に活動は終わっています。

そこから今度は勝山に施設がありましたので、その身近なところへボランティアに行こうということで、窓ふきや車椅子の掃除だとかそういうのも班別に分けての活動を続けていました。



柴田元副会長



藤平副会長

何か地域のおばあちゃんとして役に立てることがあるかなと思って、校長を退職された方に相談して、中学校へふれあい体験をお願いしました。体験後は「おばちゃんおばちゃん」って向こうから声をかけられて、これぐらい嬉しいことはないよなと思いました。近所のおばあちゃんと中学生が顔見知りになる。これがふれあい体験の一番大きないいことだったなと思っています。

私が真庭に来た当時は「愛育委員のおばちゃんはうるさいな」って思っていたんです。それでもがん検診を勧められ、私自身が命拾いをしました。そのときの気持ちを忘れずに1人でも多くの人に検診を受けてもらって命がなくなることがないように活動しています。

新庄村は小さい村ですから、もう1軒1軒回って様子が全てわかるんですね。村で健康まつりという行事があって、検診を無料でしていただける。そこに地域の人をいかに多く行っていくかというのが課題で、「わしゃ受けんで」と2、3年言われても、また会いに言ったら「香山さん受けてみるけ」と健康まつりに初めて参加していただけた。

1人1人が見えるってことはすごいことなんだなって思っています。声かけの重要性をつくづく感じております。



香山副会長



山本課長

少しおせっかいな活動が、この時代に重要だなと思っています。行政だけでは端の方まで声かけ見守りができないので、愛育委員さん方の活動っていうのは私達にとってもすごくありがたいです。今後もよろしくお願ひしたいなと思います。



竹本主幹

担当した当時は愛育委員さんと10代の妊娠中絶半減運動を目的に、中学校に出向いていました。こうやって続いて展開されている事を感じています。

なり手がいなくて厳しい時代かもしれませんが、続けていきたいなと思っています。





愛育委員からのメッセージ

香山副会長

活動を通じて気軽に話せる人間関係が大切だと思うんです。そのためには愛育委員の心得、「話しやすい雰囲気をつくる」「相手の話をよく聴く」「相手が話したがらないことは、聞き出さない」の3つが大切なことじゃないかなと思っています。



藤平副会長

江草先生、山内先生、今の時代では真庭市医師会、真庭歯科医師会の先生方が愛育委員を大事に守ってくださっている。私達もそれに加えて頑張っていかなきゃいけないって常々思っています。

柴田元副会長

愛育委員が減っている中でも、一生懸命頑張ってくださっている。ずっとこの愛育委員を続けていっていただきたいと思います。

杉本会長

江草先生からの「できることを継続していくのが愛育委員活動なんじゃ。自分の体を心配しながら、持続可能な地域の活動を続けていったらいい」という言葉に心が軽くなりました。地域でできる活動をしていただいたら愛育委員を続けていけるのではないかなと思います。



これからの愛育委員活動について

前真庭保健所長 光井 聡

愛育委員の活動について知ったのは、大学院の授業の中で、海外公衆衛生の分野でご活躍されていた先生から「岡山県には愛育委員・栄養委員というソーシャルキャピタル、草の根の健康推進活動をされている素晴らしいひとたちがいる」と教えていただいた時でした。その頃から10年ほど経ち、真庭保健所に赴任して、愛育委員の皆様と実際にお会いして、いっしょにお仕事をできる機会をいただき、本当にありがたく感じさせていただきました。

本日、温故知新から復古創新、「古きを知ってこれからの時代のために何を残していけるか、繋いでいけるか」が重要だとあらためて教えていただきました。

戦後の復興から高度経済成長にかけて日本全体が突き進み、弱きひとたちが置き去りになるかもしれない時代の中、紡がれてきた「地域のDNA」と生まれてくる命を何とか守りたいという「愛育の心」がブレンドして、真庭から素晴らしい活動が始まり、それが県内に広がりました。

そのときに蒔かれた公衆衛生の種が75年の歴史の中で、今まさに広く根を張り、花を咲かせていると感じました。この地域に育ったこの芽を絶やさないように、しっかり我々も次の時代に引き継いでいかなくてはなりません。今後もぜひ愛育委員みなさまのお力添えをいただけたらと思います。

愛育の心を核に、目配り、気配り、心配りを積み重ねて、地域の健康課題に対応した活動、その基本となる住民との繋がりを大切に、今後ともご活躍いただけることを祈念しています。

赤ちゃんから高齢者まで、豊かな人生を支援します

健康増進

- 行政への協力活動
- 自主的活動

愛育委員会

(委員の親睦を深め、会の自主的活動をすすめるため、定例に開催)

- 委員会の目標を決める

ひとりひとりの愛育委員が活動を支えています。

各地区の愛育委員会を基盤として、住民の健康増進のために、様々な活動を通して、地域連帯等に取り組んでいます。

母子保健

- 地域と連携した子育て支援
- 健康診査のすすめと健診への協力
- 予防接種のすすめ
- 母乳栄養のすすめ
- 親子クラブへの支援
- 思春期の健康づくり
- 児童虐待予防

健康増進

- 各種健診（特定健診、保健指導、がん検診）をうけるよう、声かけ運動と、健診当日の支援
- 健康相談、事後指導、各種教室へ参加のすすめと事業への協力
- 高齢者の閉じこもりを防ぎ、必要な人には介助の支援をする

健康づくり事業

- メタボリックシンドロームを中心とした生活習慣病予防のすすめ
- 楽しみながら、気分転換できるような運動（リラックスしながら身体を動かすこと）のすすめ
- 骨粗鬆症予防のすすめ

禁煙運動のすすめ

精神保健

- 心の健康づくりに関する普及啓発
- 自殺予防に関する普及啓発やゲートキーパーとしての気づき・見守り・つなぐ活動
- 適正飲酒10カ条のすすめ
- 地域活動支援センター等への活動支援

歯科保健

- むし歯予防
- 歯周病の予防

結核・感染症予防

- 検診のすすめ
- 複十字シール運動
- 感染症についての正しい理解を得るための知識の普及啓発活動

献血推進

- 献血のよびかけ

地域連帯

- 各種地区組織と連携をとる

<活動の振り返りの中で出た愛育委員活動の大切なポイント>

- 子どもから高齢者までの健康づくりのための行政や他団体との協働
- 日頃からの声かけや見守りによる住民とのつながり
- 目くばり、気くばり、心くばり という「愛育のこころ」

資料編

令和3年度～令和7年度

総会・研修会

表彰歴

歴代役員

会則

組織図

Ⅵ. 資料編（令和3年度～令和7年度）

総会・研修会（令和3年度～令和6年度）

回 数	年月日	場 所	講演内容
第66回			※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催
第67回	R4. 6.27	久世エスパス センター	「みんなの力で健康長寿の故郷（ふるさと）づくり」 岡山県健康づくり財団 健康づくり総合センター 副センター長 二宮 忠矢
第68回	R5. 6.15	勝山文化 センター	「生活習慣病の予防と早期発見の重要性 ～特定健診・がん検診の受診率向上をめざして～」 医療法人敬和会 近藤病院 院長 近藤 秀則
第69回	R6. 6. 6	勝山文化 センター	「真庭地域の健康を守る愛育委員に期待する事 +α（プラスアルファ）」 社会福祉法人緑社会 金田病院 理事長 金田 道弘

表彰歴（令和3年度～令和6年度）

市村名	年 度	受賞者	表彰名・区分
真庭市	R3	平内 礼子	岡山県保健福祉部長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R3	杉本 喜美恵	岡山県保健福祉部長表彰（麻薬覚醒剤事業功労）
真庭市	R3	中田 礼子	岡山県真庭保健所長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R3	沖田 鈴子	岡山県真庭保健所長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R4	杉本 喜美恵	厚生労働大臣表彰（母子保健家族計画事業功労）
真庭市	R4	山本 邦江	岡山県真庭保健所長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R5	杉本 喜美恵	岡山県知事表彰（保健衛生功労）
真庭市	R5	藤平 民世	岡山県保健医療部長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R5	春木 眞美	岡山県保健医療部長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R5	峪田 泰江	岡山県真庭保健所長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R5	片山 陽子	岡山県真庭保健所長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R5	中川 良江	岡山県真庭保健所長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R5	大盛 陽子	岡山県真庭保健所長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R5	真庭市愛育委員会	岡山県真庭保健所長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R5	真庭市愛育委員会 美甘支部	日本赤十字社岡山県支部長感謝状
真庭市	R5	真庭市愛育委員会 湯原支部	日本赤十字社岡山県支部長感謝状



市村名	年度	受賞者	表彰名・区分
真庭市	R6	藤木 純子	岡山県真庭保健所長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R6	上山 京子	岡山県真庭保健所長表彰（母子愛育事業功労）
真庭市	R6	田中 梅子	岡山県真庭保健所長表彰（母子愛育事業功労）
管内	R6	真庭保健所管内 愛育委員連合会	岡山県真庭保健所長表彰（麻薬覚醒剤事業功労）
真庭市	R6	真庭市愛育委員会 落合支部	献血運動推進協力団体等厚生労働大臣感謝状

真庭保健所管内愛育委員連合会歴代役員名簿（令和3年度～令和7年度）

年 度	R3	R4	R5	R6	R7
連 合 会 会 長	杉本喜美恵	杉本喜美恵	杉本喜美恵	杉本喜美恵	杉本喜美恵
副 会 長	藤平 民世	藤平 民世	藤平 民世	藤平 民世	藤平 民世
副 会 長	宮島 敦子	高田八重子	高田八重子	香山 康永	香山 康永
真 庭 市 北 房 支 部	城崎香代子	黒田真由美	黒田真由美	草野 洋子	草野 洋子
真 庭 市 落 合 支 部	藤平 民世	藤平 民世	藤平 民世	藤平 民世	藤平 民世
真 庭 市 久 世 支 部	藤木 純子	藤木 純子	藤木 純子	藤木 純子	藤木 純子
真 庭 市 勝 山 支 部	宮島 敦子	宮島 雅世	宮島 雅世	金定 早苗	金定 早苗
真 庭 市 美 甘 支 部	杉本喜美恵	杉本喜美恵	杉本喜美恵	杉本喜美恵	杉本喜美恵
真 庭 市 湯 原 支 部	辻 祐子	福島 万理	福島 万理	福島 万理	福島 万理
真 庭 市 蒜 山 支 部	三船 真紀	長見 幸子	長見 幸子	村岡 真理	村岡 真理
新 庄 村	佐藤 光代	高田八重子	高田八重子	香山 康永	香山 康永

事務局

年 度	R3	R4	R5	R6	R7
所 長	西田 典数	則安 俊昭	光井 聡	光井 聡	宮原 勅治
保 健 課 長	猪元 信子	猪元 信子	掛屋 美香	掛屋 美香	原田 瞳
総 括 副 参 事	河副 節美	河副 節美	片山美保子	片山美保子	森本 健介
担 当 者	長谷川真希	白神美津子	小野 薫	實光 健吾	小野 薫

真庭保健所管内愛育委員連合会 会則

第1章 名称及び事務所

第1条 この会は、真庭保健所管内愛育委員連合会と称し、事務所を岡山県真庭保健所内に置く。

第2章 目的及び事業

第2条 この会は、管内の市村愛育委員会相互の緊密なる連携のもとに、母子保健並びに生涯にわたる健康づくりの推進に努め、以て地域住民の健康の保持と福祉増進に寄与することを目的とする。

第3条 この会は、前条の目的を達成するために下記の事業を行う。

- 1 愛育委員活動の推進
- 2 関係機関相互の連絡協調に関すること
- 3 研修会の開催
- 4 その他第2条の目的達成に必要な事業

第3章 組 織

第4条 この会は、真庭市、新庄村の愛育委員を会員として組織する。
この会の運営は、理事によって行う。

第4章 役員及び職員

第5条 この会に下記の役員を置く。

- 1 会 長 1名
- 2 副会長 2名
- 3 理 事 8名（会長、副会長を含む）
- 4 監 事 2名

第6条 会長・副会長は理事の互選とする。

理事は、真庭市愛育委員会の支部長、新庄村愛育委員会の会長とする。

監事は、会長がこれを委嘱する。

第7条 会長は、この会を代表し会務を総理する。

副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時はこれを代理する。

理事は、この会の事業の執行を図る。

監事は会計の状況を監査する。

第8条 役員の任期は、2カ年とする。但し再任を妨げない。欠員によって選任されたものの任期は前任者の残余期間とする。

第9条 この会に名誉会長、顧問及び参与を置くことができる。

- 1 名誉会長、顧問及び参与は、理事の推薦により会長が委嘱する。
- 2 名誉会長、顧問及び参与は、重要な事項について会長の諮問に応じる。

第5章 資産及び会計

第10条 この会の経費は、次に掲げるものをもってあて、会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

- 1 補助金及び寄附金
- 2 その他の収入

第6章 会 議

第11条 会議は、総会、理事会、2種類とし、総会は通常年1回以上これを開く。
但し、必要ある時は臨時に開くことができる。議決には、出席者の過半数の賛成を必要とする。

第12条 理事会は、この会則の定めるものの他に次の事項を附議する。

- 1 事業計画の作成
- 2 総会に附議する事項
- 3 総会の協議で委任された事項

第13条 総会にはつぎの事を附議する。

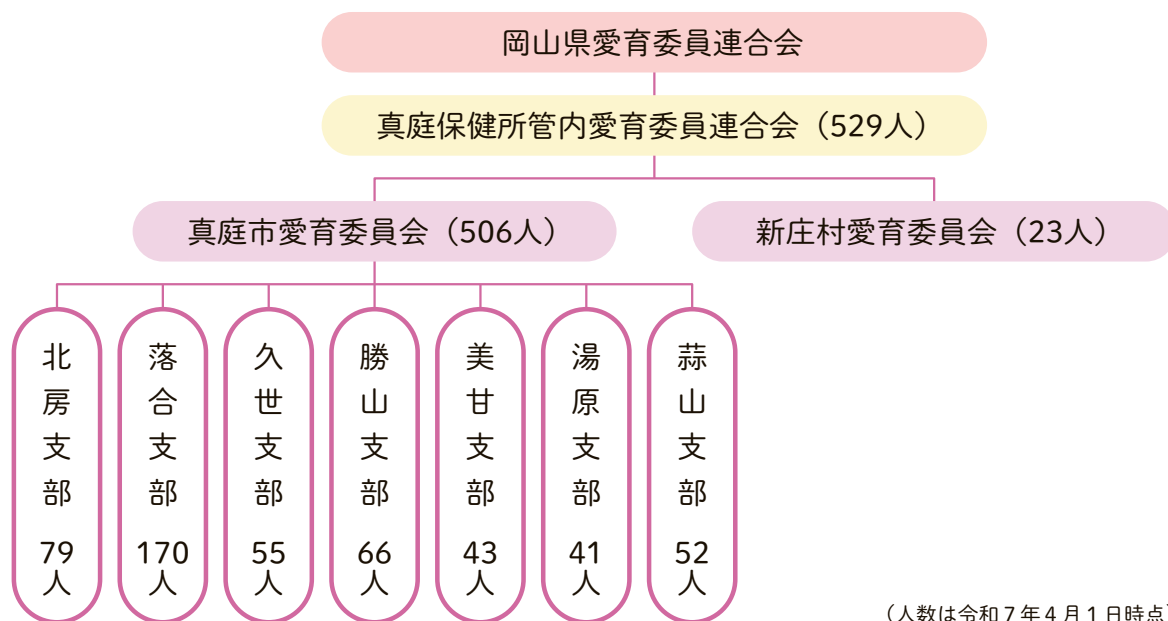
- 1 事業計画案の審議
- 2 会則の変更
- 3 財産の処分
- 4 その他、理事に委任したものを除く他のこと

第14条 この会則施行上必要な規約は別にこれを定める。

第7章 附 則

第15条 この会則は、昭和28年 9月17日より施行する。
この会則は、昭和39年 5月 1日改正し同日施行する。
この会則は、昭和52年 4月25日一部改正し同日施行する。
この会則は、昭和57年 4月28日一部改正し同日施行する。
この会則は、昭和63年 6月30日一部改正し同日施行する。
この会則は、平成 6年 6月23日一部改正し同日施行する。
この会則は、平成10年 6月19日一部改正し同日施行する。
この会則は、平成12年 7月14日一部改正し同日施行する。
この会則は、平成13年 6月20日一部改正し同日施行する。
この会則は、平成17年 6月29日一部改正し同日施行する。
この会則は、平成20年 6月12日一部改正し同日施行する。
この会則は、平成21年 6月 3日一部改正し同日施行する。
この会則は、平成24年 6月21日一部改正し同日施行する。
この会則は、令和 2年 7月 3日一部改正し同日施行する。
この会則は、令和 3年 6月 7日一部改正し同日施行する。

真庭保健所管内愛育委員連合会 組織図



VII. あとがき

コロナ禍の中で記念誌を発刊した70周年から早5年経ち、真庭保健所管内愛育委員連合会は75周年を迎え、記念誌「愛育道」を発刊いたしました。

人と人との繋がりが希薄になりやすかった5年間も、子どもと親への支援をはじめ心の健康づくり活動など現状に応じて工夫を凝らし、声をかけあって共に健康になれる地域づくりに繋がる活動を継続してきました。この度の記念誌作成にあたって開催した「愛育委員活動を語る会」や記念誌編集会議などで活動を振り返ることで、時代の変遷があっても変わらず続く「目配り、気配り、心配り」の大切さと、それぞれが愛育委員として活動していく中で芽生えた「愛育の心」を見つめ直すことができました。

この愛育委員発祥の地である真庭で、歴代の諸先輩方から引き継いできた愛育の灯を、活動の楽しさややりがいととも未来へと繋いでいくために努力してまいります。

今日までご指導くださった諸先輩方、寄稿してくださった皆様、お力添えをいただいた皆様様に心よりお礼を申し上げます。皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。



編集委員：真庭保健所管内愛育委員会理事

後列（向かって右から）

理事 …………… 村岡 真理
理事 …………… 草野 洋子
理事 …………… 金定 早苗

前列（向かって右から）

理事 …………… 福島 万理
副会長 …………… 藤平 民世
会長 …………… 杉本喜美恵
副会長 …………… 香山 康永
理事 …………… 藤木 純子

75周年記念誌
愛育道

発行日 令和7年7月

発行者 真庭保健所管内愛育委員連合会

岡山県真庭市勝山591番地 岡山県真庭保健所真庭保健課内

電話 (0867) 44-2991

印刷 株式会社 i プランニング KOHWA



真庭保健所管内愛育委員連合会
75周年記念誌